自然生態系を基盤とする防災減災推進について



~庄内川流域を対象に生態系保全・再生ポテンシャルマップの作成 等~

- ・ 生態系の保全・再生によって、防災・減災機能(主に遊水機能や雨水貯留・浸透機能を想定)が期待できる取組(Eco-DRR※)の推進に向け、生態系保全・再生ポテンシャルマップを作成。
- 今年度、**土岐川・庄内川流域**を対象に生態系保全・再生ポテンシャルマップを作成。
- 引き続き、市町村スケールでのケーススタディ等を実施し、令和4年度に手引き等をとりまとめ。

※Eco-DRR(Ecosystem-based Disaster Risk Reduction):自然災害に対して脆弱な土地の開発や利用を避け**災害への暴露を回避**するとともに、 防災・減災など**生態系が有する多様な機能を活かし**て社会の**脆弱性を低減**すること

ポテンシャルマップの作成・活用の手順

土岐川・庄内川流域での検討内容

①現状の把握

土地利用の状況の可視化(雨水の貯留・浸透機能や生物多様性保全機能を有すると考えられる生態系や土地※に関する情報を含む)

※湿地、草原、霞堤、遊水地、水田・畑地、ため池、水害防備林等を想定

「JAXA高解像度土地利用土地被覆図 |

+「農地の区画情報(筆ポリゴン)」

を重ね合わせ、現状の生態系の分布・土地利用を可視化

2頁に掲載

②方向性の検討

対象地域の生態系の分布や土地利用の特性を 踏まえ、Eco-DRRの推進に向けた**方向性を** 検討。

- ・愛知県北部等では**水田が分布**しており、これらの保全・再生を図ることが考えられる。
- ・**丘陵部にはため池が分布**するなど、中上流域において 雨水の貯留・浸透を進めることが考えられる。

③適地の抽出

Eco-DRRの推進に向けた方向性を踏まえ、 雨水の貯留・浸透機能や生物多様性保全機能 等の観点で**評価指標を選定**し、**Eco-DRRの 適地(生態系保全・再生の適地)を抽出**。

【雨水の浸透が期待できる場所の可視化】

・地形・地質等から期待される雨水浸透機能

【生物多様性保全を図る上で重要な場所の可視化】

- ・里山など**景観の多様度が高い場所**(モザイク状の景観 によって多様な種の生息・生育場となっている環境)
- ・連続した水田(鳥類の餌場等として重要な場所)

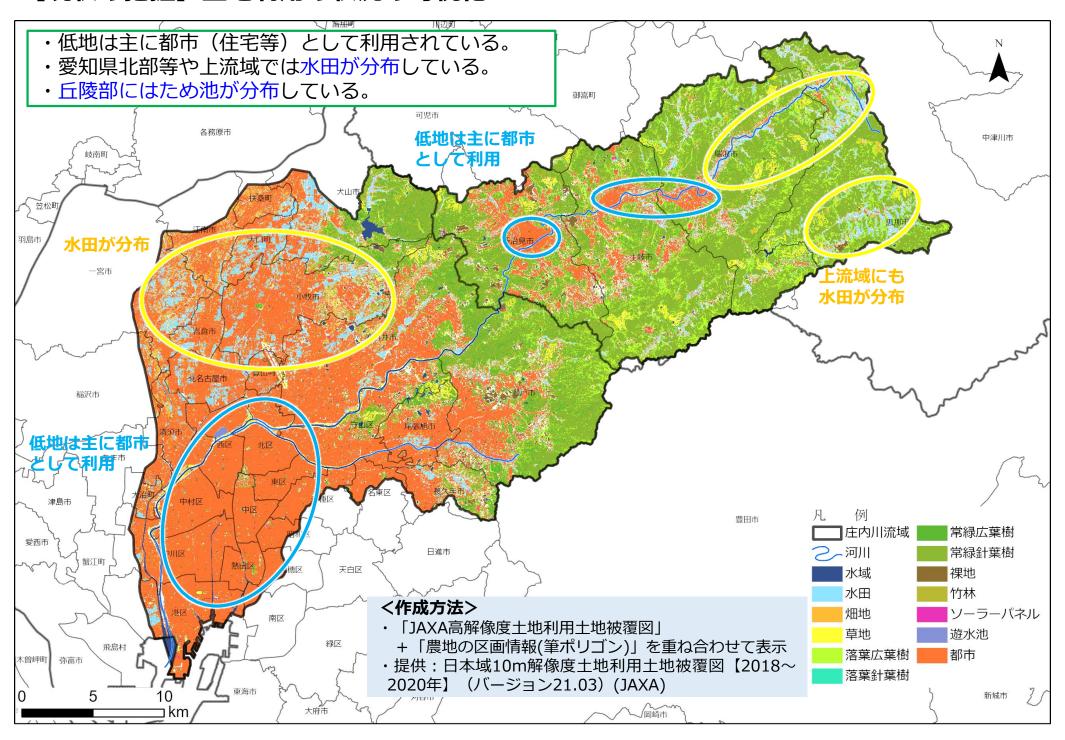
3~5頁に掲載

4)施策の検討

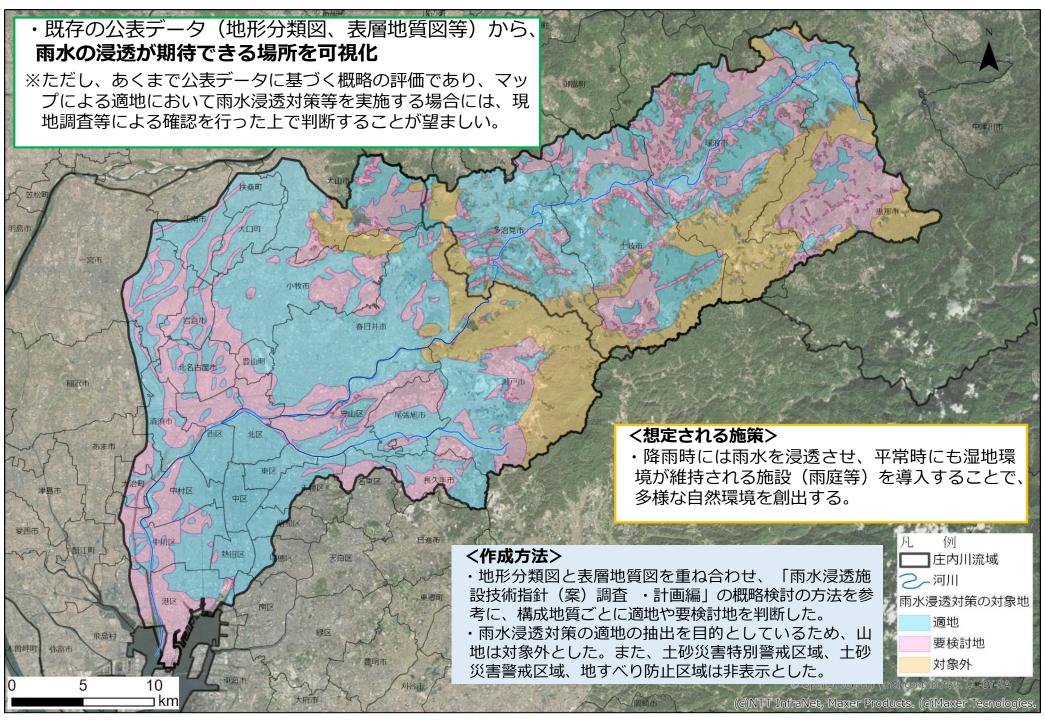
Eco-DRRの適地に、土地利用の規制に関する情報等を重ね合わせることで、優先的に施策を検討すべき場所や具体的な施策を検討。

※市町村スケールでのケーススタディ等を実施予定

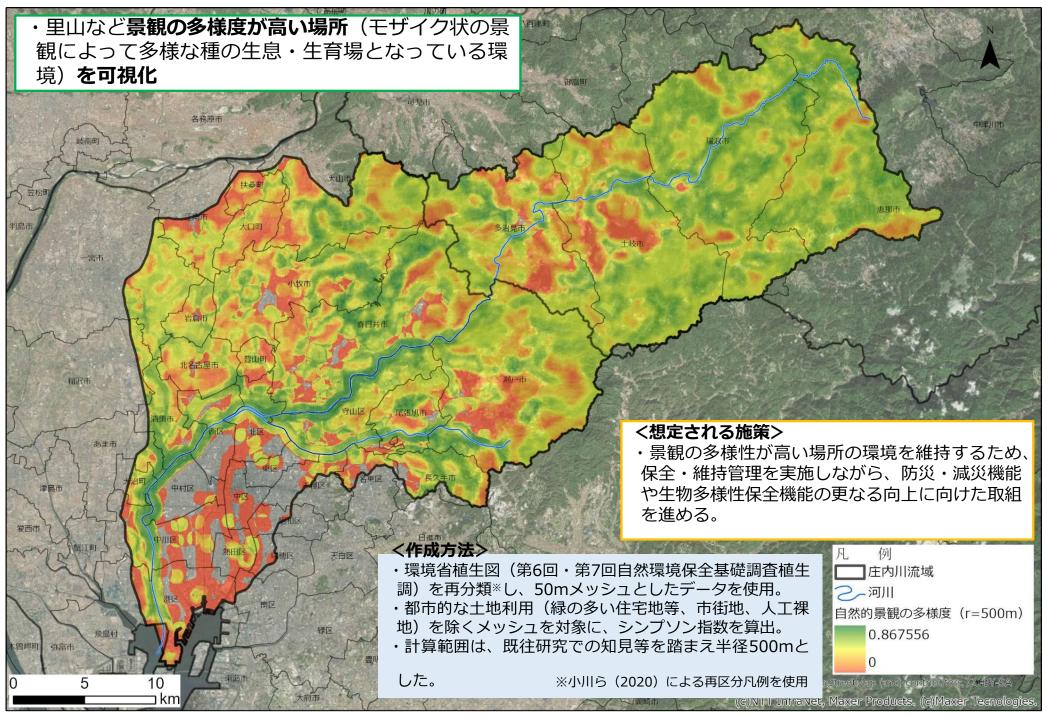
【現状の把握】土地利用の状況の可視化



【適地の抽出】地形・地質等から期待される雨水浸透機能



【適地の抽出】景観の多様性が高い場所



【適地の抽出】連続した水田

